2026 年 6 月 30 日
国立大学法人九州大学
九州旅客鉄道株式会社

九州大学と JR 九州が連携協定を締結
～秋月・野鳥川流域をフィールドに、共創による社会課題解決へ～

国立大学法人九州大学（総長：石橋達朗、以下「九州大学」）と九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：古宮洋二、以下「JR 九州」）は、2026 年 6 月 30 日、以下のとおり連携協定を締結しました。

本協定では、九州大学の研究知見と JR 九州のプロジェクト推進力や社会への展開力を掛け合わせ、気候変動・生物多様性・サーキュラーエコノミーといった地球規模の課題解決と、地域の持続的発展への貢献を目指してまいります。

1. 協定締結の背景と目的

秋月地区は、歴史・文化・自然環境に恵まれた地域である一方、気候変動や生物多様性の劣化といった地球規模の社会課題が、地域レベルでも顕在化しています。本協定は、こうした課題解決のモデルケースを秋月・野鳥川流域から発信するとともに、明るく豊かな未来に向けた新たな社会的価値の創出を目的としています。両者は調査・研究等の取り組みを通じて、相互に情報・意見を交換し、連携・協力して活動を推進してまいります。

2. 連携協定の主な取り組み内容

（1）気候変動・生物多様性等、地球規模の社会課題解決に資する調査・研究
（2）地域固有の歴史・文化・自然環境を活用した、魅力ある地域づくりの推進
（3）人材育成および教育・研修機会の創出
（4）取り組み内容および成果の発信

3. 今後の展望

本協定に基づき、両者は秋月・野鳥川流域を起点とした地域社会の持続的発展モデルの構築を目指します。また、得られた知見・成果は将来的に他地域への展開も検討することで、地域課題解決に貢献してまいります。

以上